

# H30年産清酒原料米の酒造適性予測

独立行政法人酒類総合研究所

## 〈原料米の溶解性（溶けやすさ）の予測について〉

原料米の性質は、同じ品種でも生産年や生産地の気象条件によって左右されます。従って、酒造現場では、酒造初期には原料米の性質がよくわからないまま仕込みを行い様子を見ながら醸造工程の管理を行っているのが現状でした。原料米の性質を酒造前に容易に把握できれば、清酒の品質向上や製造管理に大きく貢献できます。

酒類総合研究所は、気象条件が原料米の酒造適性へ及ぼす影響を明らかにするため、清酒の製造管理に最も重要な原料米の溶けやすさ（溶解性）と気象データとの関係を研究しました。その結果、イネの登熟期の気温がデンプンの性質を左右し、原料米の溶けやすさに影響を及ぼすことがわかりました。このことから、イネ登熟期の気温によって精度良く原料米の溶けやすさを予測できることが明らかになりました。

## 〈平成30年産の酒造用原料米の溶解性予測〉

この知見から、平成30年産の酒造用原料米の溶解性は以下のように予測されますので御紹介いたします。

今年度のイネ登熟期の気温は、北日本では8月上旬まで高めでしたがその後は一時高めとなったものの平年並みからやや低めでした。東日本では8月中旬に一時低めとなったものの7月中旬から9月上旬まで平年並みから高めとなりました。西日本では7月中旬から8月下旬まで平年並みから高め、9月は中旬に一時高めとなったものの平年並みから低めとなりました。

このことから米の溶解性は、①7月中旬から下旬に出穂する五百万石などの早生品種は平年並みから溶けにくい、②8月上旬から中旬に出穂する品種は、北日本では平年並みからやや溶けやすく、東日本及び西日本では平年並みからやや溶けにくい、③8月下旬から上旬に出穂する山田錦などの西日本の晩生品種は、概ね平年並みで、昨年との比較では昨年並みから昨年よりやや溶けにくいと予測されます。

なお各地域の予測は次のとおりです。

北海道：平年並みから平年よりやや溶けやすく、昨年との比較では昨年並みから昨年よりやや溶けやすい。

東北：概ね平年並みで、昨年との比較では昨年並みから昨年よりやや溶けにくい。

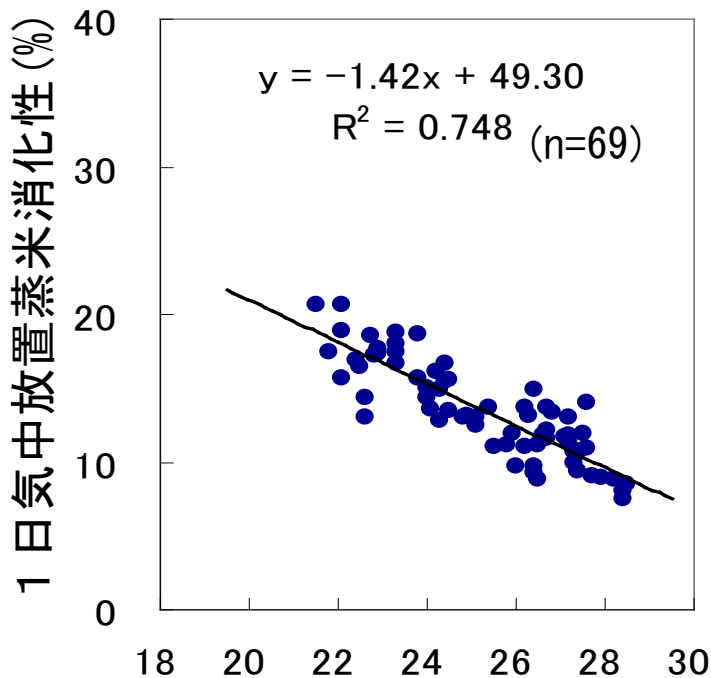
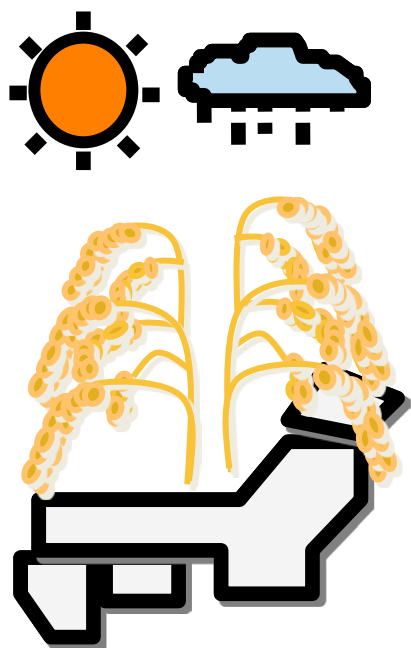
関東信越：早生品種は概ね平年より溶けにくく、昨年との比較では昨年よりやや溶けにくい。8月中旬以降出穂する晩生品種は概ね平年並みで、昨年との比較では昨年よりやや溶けにくい。

北陸：平年並みから平年より溶けにくく、昨年との比較では昨年よりやや溶けにくい。

東海・近畿・中国：早生品種は平年並みから平年より溶けにくく、昨年との比較でも昨年並みから昨年より溶けにくい。山田錦などの晩生品種は概ね平年並みで、昨年との比較では昨年並みから昨年よりやや溶けにくい。

四国・九州：概ね平年並みで、昨年との比較では昨年並みから昨年よりやや溶けにくい。

# 気象データからの清酒原料米の酒造適性予測



**低温**



アミロペクチン  
側鎖が短い  
→老化しにくい  
→醪中で酵素消化  
されやすい

**高温**



アミロペクチン  
側鎖が長い  
→老化しやすい  
→醪中で酵素消化  
されにくい

夏季の気温から米の溶解性が予測可能に



清酒の品質向上や製造管理に貢献

# H30年産清酒原料米の溶解性予測

## 平成29年

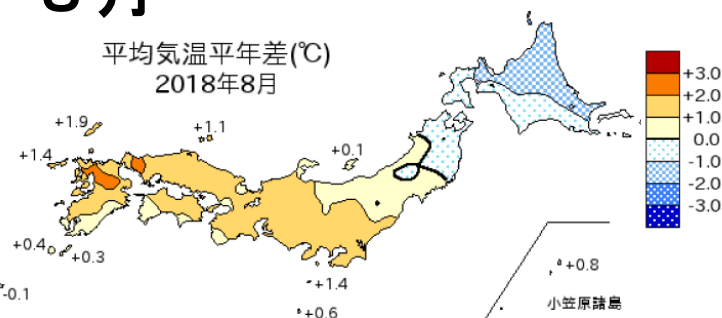
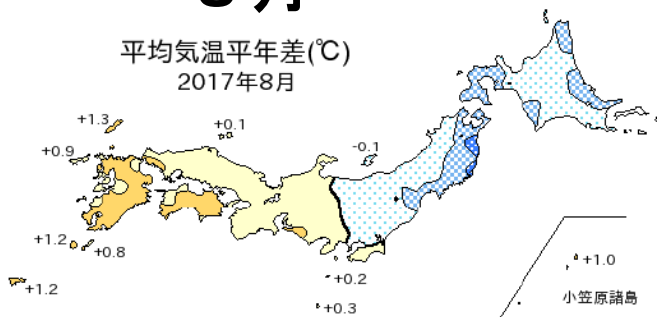
## 平成30年

### 8月

### 8月

平均気温平年差(°C)  
2017年8月

平均気温平年差(°C)  
2018年8月

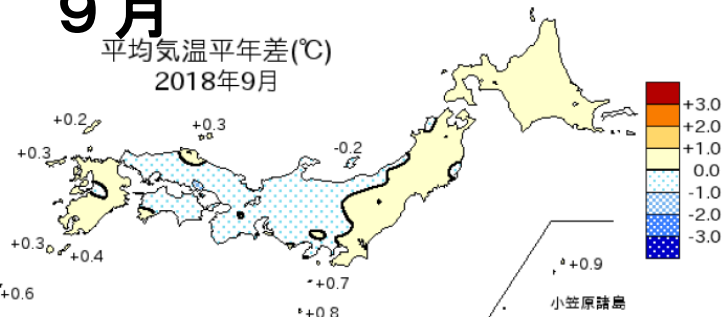
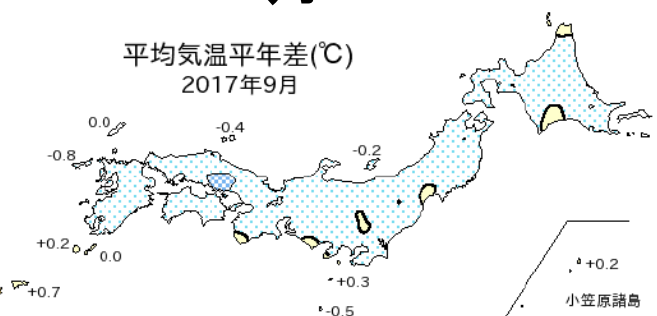


### 9月

### 9月

平均気温平年差(°C)  
2017年9月

平均気温平年差(°C)  
2018年9月



## H30年産の予測

気象庁報道発表資料

<http://www.jma.go.jp/jmaより>

7月中旬から下旬に出穂する五百万石などの早生品種は平年並みから平年より溶けにくく、8月上旬から中旬に出穂する品種は、北日本では平年並みからやや溶けやすく、東日本及び西日本では平年並みからやや溶けにくい。

8月下旬から9月上旬に出穂する山田錦などの西日本の晩生品種は、概ね平年並みで、昨年との比較では昨年並みから昨年よりやや溶けにくい。

# H30年産清酒原料米の溶解性予測

## 北海道

平年並みから平年よりやや溶けやすく、昨年との比較では昨年並みから昨年よりやや溶けやすい。

## 東北

概ね平年並みで、昨年との比較では昨年並みから昨年よりやや溶けにくい。

## 関東信越

早生品種は概ね平年並みから平年より溶けにくく、昨年との比較では昨年よりやや溶けにくい。8月中旬以降出穂する晩生品種は概ね平年並みで、昨年との比較では昨年よりやや溶けにくい。

## 北陸

平年並みから平年より溶けにくく、昨年との比較では昨年よりやや溶けにくい。

## 東海・近畿・中国

早生品種は平年並みから平年より溶けにくく、昨年との比較でも昨年並みから溶けにくい。山田錦などの晩生品種は概ね平年並みで、昨年との比較では昨年並みから昨年よりやや溶けにくい。

## 四国・九州

概ね平年並みで、昨年との比較では昨年並みから昨年よりやや溶けにくい。

問い合わせ

独立行政法人酒類総合研究所 成分解析研究部門

副部門長 奥田将生(おくだまさき)

Tel: 082-420-0800 (01#)

Fax: 082-420-8228

E-mail : okuda@nrib.go.jp